

開催概要

<主催：関東運輸局千葉運輸支局>

- 日時：令和3年12月3日（金）14：30～16：30
- 場所：日本大学船橋キャンパス12号館（船橋市習志野台7-24-1）
及びWeb開催
- 基調講演：日本大学工学部教授 藤井 敬宏 氏
- 特別講演：野田市いきいきクラブ連合会 会長 須賀田 貞彦 氏
- 議事（1）バリアフリーに関する取り組みについて
 - ・バリアフリーに関する事例紹介（交通事業者）
 - ・国のバリアフリーの取り組みについて（整備局・運輸局）
- （2）意見交換

委員

（敬称略）

- <座長> 藤井 敬宏（日本大学工学部教授）
本宮 敏雄（千葉県身体障害者福祉協会 理事長）
今野 正隆（千葉県視覚障害者福祉協会 副会長）
渡邊 義幸（千葉県聴覚障害者協会 企画室長）
岩野 明子（千葉県手をつなぐ育成会 副会長）
鴨 省次郎（千葉県精神障害者家族会連合会 副理事長）
大野 祐子（野田市自閉症協会 会長）
須賀田 貞彦（野田市いきいきクラブ連合会 会長）

参画（委員以外）

【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道(株),東武鉄道(株),東武バスセントラル(株),京成バス(株),(有)北柏交通,(一社)日本民営鉄道協会,(一社)千葉県バス協会,(一社)千葉県タクシー協会【関係行政機関】千葉県、松戸市、野田市、流山市、柏市、安孫子市、千葉県警察本部 【その他】関東地方整備局、千葉国道事務所、関東運輸局

講演

- <基調講演>【日本大学工学部教授 藤井 敬宏 氏】「ユニバーサルデザインタクシーを活用した介護タクシーの運用改善策の検討-千葉県を例として-」
<特別講演>【野田市いきいきクラブ連合会 会長 須賀田 貞彦 氏】「高齢者団体・バリアフリーについて」

バリアフリーの取り組み等

- 【東武鉄道株式会社】バリアフリー整備方針・ハード面での整備状況・ソフト面での取り組み状況 他。
【東武バスセントラル株式会社】バス車両のバリアフリー対応状況・ラプリーパス・運転士教育 他。
【有限会社北柏交通】介護タクシーのバリアフリー対応状況・社内研修・バリアフリー取り組みの効果 他。

会議での発言（委員より）

- ・オリンピック・パラリンピック開催にあたり、関係施設のバリアフリー化が進んだと感じている。
- ・今後、更に高齢者の増加が予想されるため、子供たちの教育から進めてもらいたい。
- ・聴覚障害者への理解が昔よりは進んでいると感じている、音声翻訳アプリなど便利なアプリが普及していることが要因かと考えている。
- ・エレベーターやエスカレーターに音声案内がついていないところがある。
- ・AEDの正しい利用法・知識の普及の為、講習会を開いてほしい。
- ・将来的にはタブレット等で手話通訳者を見ながら手話ができれば便利だと思う。
- ・道路等市街地はアスファルト等で整備されているところが多いが、市街地を離れると砂利道が多く、道幅が狭く危険に感じる事も多い為、道路の整備も進めてほしい。
- ・交通費が掛かる為、外出を控えている実態がありました。公共交通機関の割引をお願いしたい。
- ・多機能トイレにユニバーサルベッドの導入も考えてもらいたい。
- ・音情報だけでなく、視覚情報も情報のバリアフリーとして常に考えてほしい。 等

令和3年度 茨城運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要

開催概要

<主催：関東運輸局茨城運輸支局>

- 日時：令和4年1月25日（火）14:00～16:25
- 場所：茨城県開発公社ビル 4階 大会議室
- 議事：
 - ・国におけるバリアフリーの取り組み（関東運輸局、関東地方整備局）
 - ・水戸市におけるバリアフリーの取り組み（水戸市交通政策課）
 - ・意見交換

委員

（敬称略）

<座長>山田 稔（茨城大学大学院理工学研究科都市システム工学領域 教授）
伊藤 達也（公益財団法人 茨城県老人クラブ連合会 会長）
葛野 やす子（社会福祉法人 茨城県視覚障害者協会 理事）
上田 和英（一般社団法人 茨城県聴覚障害者協会 福祉委員長）
青木 勉（一般社団法人 茨城県心身障害者福祉協会 理事）
渡邊 貞子（茨城県肢体不自由児者父母の会連合会 理事）
根本 比呂子（一般社団法人 茨城県精神保健福祉会連合会 理事）
井寺 弘孝（茨城LD等発達障害親の会 星の子 代表）
小松崎 進（一般社団法人 茨城県身体障害者福祉協議会 理事）
高松 志津夫（NPO法人ウィラブ北茨城 代表 / 地域公共交通マイスター）
有賀 絵理（茨城県地方自治研究センター 研究員）

参画(委員以外)

【施設設置管理者】東日本旅客鉄道(株)水戸支社、ひたちなか海浜鉄道(株)、鹿島臨海鉄道(株)、ジェイアールバス関東(株)水戸支店、関東鉄道(株)、
関鉄グリーンバス(株)、(一社)茨城県バス協会 【関係行政機関】茨城県、茨城県警察本部、水戸市、笠間市、ひたちなか市、小美玉市、大洗町、東海村
【国土交通省】関東地方整備局、常陸河川国道事務所、関東運輸局、茨城運輸支局

バリアフリーの取り組み等

【水戸市】『「水戸市バリアフリー基本構想」での施策推進について』

- ・「出かけたいたい気持ち、住んでみたい気持ちにこたえるまちづくり」を目指す姿として、平成30年に策定された「水戸市バリアフリー基本構想」に基づき実施されたハード施策（公共交通・道路・都市公園等）及びソフト施策（教育・啓発活動・コミュニケーション支援等）の実績を紹介。

会議での発言(委員より)

- ・外出すると、行政や公共交通機関などの民間企業がバリアフリーを徹底するため非常に頑張っていると感じる。ただ、身の回りを考えたとき、高齢者はたった2,3ミリの段差でも転倒し、結果的に寝込み状態になったりすることもあるので、その単位まで考えていただかなくてはいけない。
- ・ハード面の整備も大事だが、こころのバリアフリーが一番大事。視覚障害者は急に声をかけられるとびっくりしてしまうので、ちょっと肩を触れて声をかけてくれるとありがたい。ただ、コロナの状況下で外出しづらくなり、体も足も弱くなってしまっているので、困っている状態の人がたくさんいる。
- ・聴覚障害者は、相手がマスクをしていると口の動きが見えないので、声をかけられても話の内容がつかみづらいことがある。また、無人駅が増えているが、鉄道の障害者割引を利用したくても無人駅ではそれができない。ハード面だけではなくソフト面の問題をもっと解決して欲しい。
- ・車いすマークのついたバスが増えているが、電動車いすで乗ろうとしたときに補助をしてもらえなかったことがある。また、予約をしないと車いすでは乗れないと聞いたこともある。チャレンジするのも大変なのでバスに乗らなくなってしまったが、その時から対応が変わっているとありがたい。
- ・精神障害者にとって、駅員にわからないことを聞くということがなかなかできないため、ボランティアガイドの育成が役に立つのではないかと。
- ・東京オリ・パラ開催にあたり、精神障害者のため国立競技場にカームダウン室やクールダウン室という個室が設置されたことを聞いて勉強になった。
- ・災害発生時、発達障害の子どもが気持ちを落ち着けるよう、避難所にクールダウン室を設けてもらえるといい。また、バス停で並ぶという行為は体の悪い人にとって非常に負担がかかる。スマホを使えば自動的に順番が表示されるなど、並ばなくてもバスに乗れるような仕組みがあるとよい。
- ・障害者用駐車場に、一見健常者とおぼしき方が車を止めてしまうことがある。施設をいくら整備しても、健常者の意識改革をしなければ起こりうる。ハードの整備も重要だが、こころのバリアフリーを強く推進していただきたい。
- ・市庁舎や道路などの整備は進んでいるものの、周辺店舗等、住民の方々にハード・ソフト両面のバリアフリーを周知し、理解していただくことが大事。

開催概要

<主催：関東運輸局群馬運輸支局>

- 日時：令和4年2月21日（月）※書面開催
- 議題：①バリアフリー法の改正について
②新型コロナウイルス感染症を踏まえた
「公共交通事業者に向けた接遇ガイドライン」について
③関東運輸局のバリアフリーの取り組みについて
④関東地方整備局のバリアフリーの取り組みについて
⑤前橋市・伊勢崎市の取り組みについて
- 報告：要綱改正（組織名称変更に伴う、形式改正となります）

委員

（敬称略）

- <座長>湯沢 昭（公立大学法人前橋工科大学名誉教授）
- <委員>松村 喜義（社会福祉法人群馬県社会福祉協議会参事兼地域福祉課長）
杉田 安啓（公益社団法人群馬県身体障害者福祉団体連合会会長）
沼賀 良夫（一般財団法人群馬県老人クラブ連合会事務局長）
小淵 健一（一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟理事）
若井 隆弘（公益社団法人群馬県知的障害者福祉協会副会長）
茂木 勤（公益社団法人群馬県視覚障害者福祉協会会長）
上野 勝征（特定非営利活動法人群馬県精神障害者社会復帰協議会理事）
山田 智子（群馬県自閉症協会事務局）

参画（委員以外）

- 【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道株式会社高崎支社、東武鉄道株式会社、上信電鉄株式会社、上毛電気鉄道株式会社、わたらせ渓谷鐵道株式会社、一般社団法人群馬県バス協会、一般社団法人群馬県タクシー協会、群馬県個人タクシー協会
- 【関係行政機関】群馬県、群馬県警察本部、前橋市、高崎市、伊勢崎市 【その他】関東地方整備局、関東運輸局

前橋市・伊勢崎市の取り組みについて

【前橋市】

上毛電気鉄道 片貝駅東口新設工事について：片貝駅は、県立前橋高校の最寄り駅であり、同校の生徒も多く利用している駅であるが、歩道の狭い県道に面した西口しか無く、歩行者と自転車の安全確保の為に開設。

【伊勢崎市】

伊勢崎市コミュニティバスあおぞらの取り組み：現在市内11路線で運行。車両としては、日野自動車ポンチョ、トヨタハイエース（乗客数6名＋車いす1名）がある。また、小型車両を導入することによって狭い路地や住宅街へバス停を設置することを可能とし、高齢者や車いすの利用者が乗車しやすい環境整備を整えている。

会議での発言（委員より）

- ・ホームにおいて、視覚障害者の転落事故は未だ後を絶たない。コストがかかるので、やむを得ない側面があると思うが、利用者数のみならず、ホームと線路との距離なども整備条件の一つとしていただき、ホームドア、ホーム柵、内方線付き点字ブロック等の整備のなお一層の加速化をお願いしたい。（とりわけ、内方線付き点字ブロックは、コストもかからないので、早急に設置をお願いしたい。）
- ・駅構内で迷ったり、危険な状況に陥った場合は勇気を出して援助依頼をするので、必要な際には声かけや見守り、誘導などの支援をお願いしたい。
- ・障害の種類、有無に関わらず、歩行者と自転車が安全に利用できる歩道の整備をお願いしたい。歩行者と自転車走行帯が表示で分かっている歩道もあるが、ほとんど整備されていない。きこえない・きこえにくい人は、自転車等の背後からの接近に気づきにくい。歩行者、自転車の区分けがハッキリした環境であれば安心して歩行できる。
- ・国営公園、および官庁営繕の窓口や管理室に「手話マーク」および「筆談マーク」の設置をお願いしたい。
- ・関東技術事務所におけるバリアフリー体験コーナーは、コロナウイルス感染症拡大のため、現在中断しているようですが、感染の収束後は、かつてのように開催していただきたい。
- ・前橋市の上電片貝駅東口新設工事は利用者の安心安全が確保されている様子が見られます。他の公共交通事業者も取り組んでもらいたいと思います。
- ・公共交通網や公共機関のバリアフリーが進むのは歓迎しますが、そこに行くまでの高齢者等の体力と駅・バス停・主要拠点までの距離を考慮したアクセシビリティについて、バス等の運行本数の増加等と平行して様々な住民の支え合い活動による移送サービスの活用をご検討いただけることを希望します。
- ・駅利用時、筆談で対応していただきました。手話で「ありがとう」と言ってくれたことが嬉しかったです。

栃木運輸支局バリアフリーネットワーク会議 概要 令和3年度

開催概要

<主催：関東運輸局栃木運輸支局>

- 日時：令和4年3月3日（木）13:30～15:30
- 場所：栃木運輸支局 2階会議室（オンライン会議）
- 講演：宇都宮大学地域デザイン科学部 客員教授 土橋 喜人 氏
「わかれば愉快だ宇都宮：バリアフリーの使い方」
- 報告：国のバリアフリーの取り組みについて
（関東運輸局、関東地方整備局）
- 意見交換

委員

（敬称略）

- <座長>大森 宣暁（宇都宮大学地域デザイン科学部 教授）
長谷川 万由美（宇都宮大学共同教育学部）
麦倉 仁巳（一般財団法人 栃木県身体障害者福祉会連合会 会長）
兼目 ちえ子（一般社団法人 栃木県視覚障害者福祉協会 副会長）
稲川 直樹（一般社団法人 栃木県聴覚障害者協会 理事）
鈴木 勇二（一般社団法人 栃木県手をつなぐ育成会 理事）
興野 憲史（栃木県精神保健福祉会 会長）
植村 文恵（栃木県自閉症協会 副会長）

参画（委員以外）

【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、関東自動車株式会社、ジェイアールバス関東株式会社、矢野自動車株式会社、一般社団法人栃木県バス協会、一般社団法人栃木県タクシー協会、【関係行政機関】栃木県、栃木県警察本部、鹿沼市、真岡市、上三川町、益子町、高根沢町、大田原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、那珂川町、足利市、栃木市、佐野市、小山市、野木町【その他】関東地方整備局、宇都宮国道事務所、関東運輸局

講演

【宇都宮大学地域デザイン科学部 客員教授 土橋 喜人 氏】 <講演題目> 「わかれば愉快だ宇都宮：バリアフリーの使い方」

会議での発言（委員より）

- ・障害者の特性によっては、バスを使用して移動する際、訓練によりパターン化された移動はできるが、事故等でダイヤが乱れると混乱してしまい、乗り換え等にうまく対応が出来ない場合がある。漢字が読めない人は、行き先に自分の目的地と同じ文字が入っているだけで、自分の目的地に行くとは勘違いしてしまい、全く違う場所に行ってしまう場合もある。そういった方でもわかるよう、通常のダイヤが乱れた時の対応をご検討いただきたい。
- ・栃木県は、バス運賃の割引について、知的・身体障害は以前から導入されているのに、精神障害だけ導入されていない。今年、国体に続いて全国障害者スポーツ大会が栃木県で行われるが、栃木県だけ割引を導入してないことが全国に知れ渡らないように、なるべく早く割引制度を導入してほしい。運賃負担については、事業者だけでなく、国、自治体等を含め考えていく必要がある。
- ・障害者の自立には、移手段の確保が大きなウエイトを占める。自家用車で移動する際、思いやり駐車スペースというのは大きな効果があるが、まだ適正な利用がされていない部分も多く見受けられるため、県民の皆さんに適正な利用のご協力を仰ぎたい。
- ・視覚障害の方の事故防止観点から、音響信号、誘導ブロックの設置、駅のホームドアの整備等を早く進めていただきたい。
- ・バスの乗降が、中乗り、前降りに変更されてから、行き先を運転手に確認することができず、視覚障害の方にとって行き先を把握することが非常に困難になった。行き先がはっきりわかるよう、車外アナウンスを徹底してほしい。
- ・ICカード「totra」は、事前に障害の情報を登録しているため、スムーズに運賃精算ができ、非常に使い勝手が良い。また、精神障害の方も割引を受けられ、大変助かっている。券面が差別化されていないのも良い。しかし、障害の程度によって介護者の割引が異なるため、区分（A、B等）だけでも入れていただくとわかりやすい。

移動等円滑化評価会議埼玉支局部会 概要 令和3年度

開催概要

<主催：関東運輸局埼玉運輸支局>

- 日時：令和4年3月10日（木）14：00～16：00
- 場所：さいたま市文化センター3階大集会室
- 議事：
 - ・国におけるバリアフリーの取り組みについて
 - ・事業者におけるバリアフリーの取り組みについて
 - ・自治体におけるバリアフリーの取り組みについて
 - ・意見交換

委員

（敬称略）

- <座長>高橋 儀平（東洋大学 名誉教授）
- 田口 茂（公益社団法人埼玉県視覚障害者福祉協会 会長）
- 大内 伸一（一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会 事務局長）
- 野島 久美子（埼玉障害者市民ネットワーク 代表）
- 矢崎 弘美（埼玉親の会『麦』事務局）
- 長岡 洋行（埼玉県発達障害福祉協会 会長）

参画（委員以外）

【施設設置管理者等】東日本旅客鉄道株式会社、東武鉄道株式会社、国際興業株式会社、朝日自動車株式会社、株式会社つばめタクシー、一般社団法人埼玉県バス協会、一般社団法人埼玉県乗用自動車協会【関係行政機関】埼玉県、埼玉県警察本部、さいたま市、戸田市、上尾市、川口市、坂戸市、越谷市、本庄市、蓮田市、鴻巣市、新座市、三郷市、幸手市、白岡市、寄居町【その他】関東地方整備局、関東運輸局

バリアフリーの取り組み等

- 【国際興業株式会社】ハード面の取り組み状況、ソフト面の取り組み状況 他。
- 【戸田市】戸田市バリアフリー基本構想について。
- 【さいたま市】さいたま市バリアフリー基本構想について。

会議での発言（委員より）

- ・点字ブロック・階段の段鼻について、設置から数年経つと劣化してくるため維持管理に力を入れてほしい。
- ・駅の無人化が進められているが、視覚障害者はホームからの転落、移動に非常に不安がある。まだまだホームドアの設置が進んでいるわけでもなく、あったとしても利用者の声かけ、誘導でかなり安心感を持つことができる。
- ・駅の無人化による不測の事態や不慮の事故に備えて、対処できる体制作りを必ず守っていただきたい。
- ・駅に聴覚障害、視覚障害などの障害者に対応する窓口を設置していただきたい。
- ・バスの発車の際には音の情報だけではなく、視覚からも情報が得られるようにフラッシュライト等で音声の代わりになる合図があるといい。
- ・災害は障害者にとって非常にリスクが高い。災害時の避難の移動を平時のうちから検討してほしい。
- ・発達障害の特性に配慮したバリアフリーが年々進んでいる。今後はさらに感覚の過敏性に配慮した公共交通機関、読み書き障害等に配慮したICTの活用も進めてほしい。
- ・身体障害者に対しての疑似体験を積み、援助の方向を学ぶことも大切だが、知的障害・精神障害・発達障害さまざまな障害に応じた研修も望んでいる。
- ・東京オリパラを契機にバリアフリーが飛躍的に良くなると期待したが、期待外れ。逆に駅の無人化により移動が制限され始めるようになった。